



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社キャピタル・アセット・プランニング 上場取引所 東
 コード番号 3965 URL <https://www2.cap-net.co.jp/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北山 雅一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務経理部 部長 (氏名) 青木 浩一 (TEL) 06-4796-5666
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績(2020年10月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	1,164	△7.6	△139	—	△140	—	△102	—
2020年9月期第1四半期	1,259	—	△124	—	△123	—	△94	—

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 △112百万円(—%) 2020年9月期第1四半期 △88百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	△17.88	—
2020年9月期第1四半期	△16.50	—

(注) 1. 2019年9月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年9月期第1四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	5,465	—	3,038	—	54.2	—
2020年9月期	5,679	—	3,208	—	55.1	—

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 2,960百万円 2020年9月期 3,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2020年9月期第2四半期の配当額には、創立30周年記念配当1円が含まれております。

3. 2021年9月期の配当予想額は未定です。

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,280	△7.3	155	208.2	150	153.4	100	289.7	17.52
通期	7,000	1.7	340	100.9	330	93.3	214	139.7	37.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年9月期1Q	5,708,496株	2020年9月期	5,708,496株
2021年9月期1Q	1,550株	2020年9月期	1,550株
2021年9月期1Q	5,706,946株	2020年9月期1Q	5,706,946株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの全世界的な感染拡大により、ほぼ全産業にわたって重大な影響を受け悪化した状態となり、2021年1月には緊急事態宣言が再度発出されるなど、終息時期の明確な見通しが立たない状況が継続しております。企業の情報システム投資は、非接触化等の新型コロナウイルス対応の需要はあるものの鈍化が懸念されています。

このような環境のなか、当社グループにおいては、生命保険会社向けの①ライフプランニングシステム、②生保設計書・申込書作成システム、③生保販売引受業務の全プロセスを、ペーパーレス化、省力化し、さらに別途アプリをダウンロードすることなく販売員が顧客の顔をオンライン上で見ながら非接触で実現する遠隔コンサルティングシステムの開発提供を継続しました。そして、④米国で急速に浸透しつつある複数の投資目標の達成確率を予想するゴールベースプランニングプラットフォーム、⑤団塊の世代の経営者を主たる対象とした統合資産管理システム、事業承継・財産承継システムの構築・販売及び使用料課金、さらに、⑥当システムを活用した資産管理コンサルティング業務の獲得に努力いたしました。

また、金融庁の「高齢社会における資産形成・管理」等の提言に端を発し、家計収支の見える化、資産枯渇年齢の見える化を実現し、退職年齢の延長、公的年金の繰下げ支給、ポートフォリオの変更がもたらす影響を見える化するスマホアプリも提供いたしました。これは、従来のバンキングアプリケーション、アカウントアグリゲーション及びライフプランニングの各機能を統合した資産形成アドバイスを、スマホ等で提供出来ることを意味します。さらに、ゴールベースプランニングシステム、統合資産管理システムの金融商品仲介業者、会計事務所ネットワーク等への販売チャネルの拡大に努力いたしました。

当社グループの主たる事業である受託開発事業は、金融機関のIT投資予算の制約や、生命保険会社の新商品販売時期の10月頃集中により、売上高、営業利益、経常利益とも、1月から3月（第2四半期）、7月から9月（第4四半期）に偏重する傾向があるため、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,164,251千円（前年同四半期比7.6%減）、営業損失は139,313千円（前年同四半期は営業損失124,224千円）、経常損失は140,502千円（前年同四半期は経常損失123,541千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は102,023千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失94,186千円）となりました。

なお、当社グループはシステム開発事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(売上高)

生命保険会社向けの①ライフプランニングシステム、②生保設計書・申込書作成システム、③生保販売引受業務のペーパーレス化、省略化、効率化、自動化、非対面化を実現するフロントエンドシステム、④銀行及び会計事務所ネットワーク向け相続事業承継・財産承継システム及びAI-OCRシステム等の開発販売の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,164,251千円（前年同四半期比7.6%減）となりました。

(営業損失)

今後の対面金融商品販売のニューノーマルとなる非対面遠隔コンサルティングシステム等の積極的な営業活動を行う一方で、受託ビジネスについては回復過程の状況にあるものの、営業損失は139,313千円（前年同四半期は営業損失124,224千円）となりました。

(経常損失)

営業外収益として、助成金収入を2,267千円計上しました。また、営業外費用として、支払利息を4,528千円計上しました。この結果、経常損失は140,502千円（前年同四半期は経常損失123,541千円）となりました。

(親会社株主に帰属する四半期純損失)

法人税等合計を△37,313千円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は102,023千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失94,186千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産>

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて214,037千円減少し、5,465,477千円となりました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて324,391千円減少し、3,456,305千円となりました。これは主として仕掛品が286,951千円増加した一方で、売掛金が601,062千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて110,353千円増加し、2,009,171千円となりました。これは主として無形固定資産が109,776千円増加したこと等によるものであります。

<負債>

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて43,957千円減少し、2,427,356千円となりました。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べて34,035千円減少し、1,673,546千円となりました。これは主として未払法人税等が57,315千円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べて9,921千円減少し、753,810千円となりました。これは主としてその他に含まれる繰延税金負債が14,841千円減少したこと等によるものであります。

<純資産>

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて170,080千円減少し、3,038,120千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失を102,023千円、剰余金の配当を57,069千円計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載した業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大により、当社グループの業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があり、引続き注視してまいります。

今後、当社業績に影響を与える事象が発生した場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,415,073	1,456,289
売掛金	1,989,885	1,388,822
仕掛品	261,343	548,295
その他	114,971	63,295
貸倒引当金	△576	△396
流動資産合計	3,780,697	3,456,305
固定資産		
有形固定資産	372,885	362,627
無形固定資産		
のれん	73,575	67,915
その他	590,640	706,076
無形固定資産合計	664,216	773,992
投資その他の資産	861,715	872,551
固定資産合計	1,898,817	2,009,171
資産合計	5,679,515	5,465,477
負債の部		
流動負債		
買掛金	296,646	297,319
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	516,801	489,013
未払法人税等	69,343	12,027
受注損失引当金	31,083	31,300
賞与引当金	15,378	6,674
その他	178,330	237,211
流動負債合計	1,707,582	1,673,546
固定負債		
長期借入金	438,993	443,167
役員退職慰労引当金	59,166	62,666
資産除去債務	154,448	151,782
その他	111,123	96,194
固定負債合計	763,732	753,810
負債合計	2,471,314	2,427,356

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	935,245	935,245
資本剰余金	816,311	816,311
利益剰余金	1,348,563	1,189,470
自己株式	△691	△691
株主資本合計	3,099,429	2,940,336
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,110	20,569
その他の包括利益累計額合計	31,110	20,569
新株予約権	77,660	77,214
純資産合計	3,208,200	3,038,120
負債純資産合計	5,679,515	5,465,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	1,259,823	1,164,251
売上原価	1,061,413	1,007,831
売上総利益	198,410	156,419
販売費及び一般管理費	322,635	295,732
営業損失(△)	△124,224	△139,313
営業外収益		
助成金収入	4,152	2,267
その他	902	1,072
営業外収益合計	5,054	3,339
営業外費用		
支払利息	4,370	4,528
その他	0	0
営業外費用合計	4,371	4,528
経常損失(△)	△123,541	△140,502
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,165
特別利益合計	—	1,165
税金等調整前四半期純損失(△)	△123,541	△139,337
法人税、住民税及び事業税	1,692	5,637
法人税等調整額	△31,047	△42,950
法人税等合計	△29,354	△37,313
四半期純損失(△)	△94,186	△102,023
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△94,186	△102,023

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△94,186	△102,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,857	△10,541
その他の包括利益合計	5,857	△10,541
四半期包括利益	△88,329	△112,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,329	△112,564
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。